

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行なわれます。
 今回の一般質問は12月11日から13日までの3日間で行い、15人の議員が質問に立ちました。掲載原稿は質問者本人が要約したものです。

詳細はホームページで動画配信しています。

通告番号	質問者	質問事項
1	楠本 千秋	①市民の健康対策について ②ボランティアポイント制について ③畜産振興について ④市長の今後の政治活動について
2	若山 敬介	①職員等の採用及び育成について ②地域総合型スポーツについて ③農業政策について
3	古賀源一郎	①防災とコミュニティ ②市民が安心して暮らせる環境とは ③市施工部分の都市計画道路（太田町～水の平線）の進捗状況について
4	中尾 友二	①学校跡地等の市有地の活用について ②し尿収集車の外観について ③天草市安心・安全メールについて
5	赤木 武男	①天草市本庁舎建設事業について ②税の滞納に対する財産の差し押さえについて ③企業広告による雑誌スポンサー制度導入について
6	本田 武志	①天草市の「おもてなし」について ②天草市本庁舎建設について
7	浜崎 昭臣	①「準離島振興法」の法律制定に向けての運動について ②「魚貫草刈り県全国大会」について ③合併以降の天草市行政の総括と検証：均衡ある地域の振興・発展をどのように導くか ④豊かな海づくり大会を終えて、実質的な環境と健康施策の充実を原発に頼らず再生可能エネルギー推進の道を
8	蓮池 良正	①天草町旧国民宿舎「あまくさ荘」跡地について ②天草市立図書館整備基本構想について ③新庁舎建設について ④防災計画について
9	中村三千人	①地域資源活用で食糧基地としての天草づくり ②天草市民の快適なまちづくり ③地域活性化の為に公営住宅の今後の活用を
10	福嶋 啓子	①天草ジョパーク構想について ②県道龍ヶ岳線の御所浦島から横浦島に架かる御所浦第2架橋の進捗状況と今後の計画について ③社会福祉協議会御所浦支所の移転について ④投票所の変更について
11	鎗光 秀孝	①横浦島コミュニティセンターの避難所体制について ②病院改革プランについて ③合併特例債について
12	浜崎 義昭	①公共利用している私有地の取り扱いについて ②防災対策について ③光ファイバー利用計画について
13	黒田 忠広	①6次産業化の取り組みは。経済政策 ②減反政策において転作物への交付金が交付されている。6次産業化への取り組みも本市で6事業者が認定を受けている。
14	脇島 義純	①職員採用は、技術系でも不足している。長期的な視点での採用を実施されるよう要望する。臨時・非常勤職員の処遇改善は、行政だけではなく、市民サービスの観点からも必要である。地域総合型スポーツの推進については、関係団体との綿密な協議が必要である。農業政策は、集積化を推進する一方、個人耕作者が、安心して生産法人等に委ねられる方策を模索すると共に、長く農業が続けられる政策の推進を要望する。
15	宮下幸一郎	①市民の健康対策について ②ボランティアポイント制について ③畜産振興について ④市長の今後の政治活動について

職員等の採用と育成について 地域総合型スポーツについて・農業政策について



若山敬介議員

若山 多くの退職者に対して採用をどう考えるのか。また、臨時・非常勤職員に対して処遇改善の考えはないのか。

総務部長 職員の採用は、基本的に定員適正化計画に基づいて実施している。大幅な退職者数がある場合、計画の範囲内で検討している。臨時・非常勤職員の待遇改善は、育児休業制度や有給休暇制度、通勤手当等、改善すべきは積極的に取り組んでいきたい。

若山 処遇改善に向けて法律の改正を市長会で検討することはできないか。

市長 慎重な調査研究や総合的な検討を重ねて、検討したい。

若山 地域総合型スポーツにおける指導者への支援を考えていないのか。

地域振興部長 地域総合型スポーツは、心身の健全な育成や病気の予防、ひいては明るく活力ある街づくりに繋がる。指導者の確保や育成は、関係者との連携を図り、検討していきたい。

若山 農業における経営安定対策

若山 職員採用は、技術系でも不足している。長期的な視点での採用を実施されるよう要望する。臨時・非常勤職員の処遇改善は、行政だけではなく、市民サービスの観点からも必要である。地域総合型スポーツの推進については、関係団体との綿密な協議が必要である。農業政策は、集積化を推進する一方、個人耕作者が、安心して生産法人等に委ねられる方策を模索すると共に、長く農業が続けられる政策の推進を要望する。



うしぶかイキキクラブのようす

市民の健康対策・ボランティアのポイント制 畜産振興・市長の今後の政治活動について



楠本千秋議員

【市民の健康対策について】

楠本 市民の健康対策、健診（人間ドック）の3年刻みを2年に1度に出来ないか。

市長 健診体制や受診者数や費用等を含め前向きに検討する。

楠本 健康遊具設置のモデル公園の設置を。

市長 健康遊具の設置は有効で、ソフト面とハード面を併せた検討をする。

楠本 大矢崎緑地公園利用者への（トイレ増設等）有効活用を。

市長 年間を通じて利用いただいております。県へ要望しながら、利便性向上に努めていきたい。



ウォーキングを楽しむ市民の方々

【ボランティアポイント制について】

楠本 介護関係以外の社会貢献活動

動への取り組みは出来ないのか。

市長 ポイント制度に多くの市民が参加・活動されるような、より効果的な制度を研究したい。

【畜産振興について】

楠本 遠隔地支援として天草・熊本間の輸送費支援で購買者の参入を。

市長 天草は、国の支援事業に該当しないが、関係団体と協議する。

【安田市長の今後の政治活動について】

楠本 市長は来春任期を迎えられます。引き続き天草市政運営を続けて頂きたいと思いますが、今後の政治活動をどうされるのかお尋ねします。

市長 この8年間全身全霊を注ぎ、市政運営に傾注してまいりました。100年後を見据えた持続可能な天草市を創るため、今やらねば成らない事、「少子高齢社会と人口減少への対応」等引き続き、天草市政運営を行いたいと考えています。

天草にコミュニティFM局を



古賀源一郎議員

古賀 防災行政無線の整備が計画中である天草市にコミュニティFM局の開局を提案したい。FM放送は防災危機管理の上からも地域のコミュニティという点においても素晴らしい力を発揮する。実際に東北の震災後の情報伝達においては唯一ラジオだけが鳴っていたという事実もある。被災された人々たちにとっては、情報こそが一番必要だったようだ。天草市には年間280万人の観光客が訪れている。そのような場合においてモーターラジオでの受信ができ、農作業中の畑や海上、仕事場などでも聞くことができる。その日の情報が実リアルに伝えることが可能である。交通渋滞やイベントのお知らせなどを細かくすることにより地域のコミュニティが向上されるツールだと思う。天草市においては早急にコミュニティFM局の開局をお願いしたい。

市長 コミュニティFM局が防災に及ぼす友好的な手段であるということがよくわかった。防災行

政無線を今真剣に考える中で当然のことながら一考を要する、そして導入を考えるべき一つのツールだと思っている。

【石炭灰を利用したリサイクル製品の安全性について】

古賀 天草町高浜地区に苓北火力発電所から出る石炭灰を利用したリサイクル製品の製造プラント工場建設の話があるが、安全性や地域への影響等は問題ないのか。

市民生活部長 プラント建設が目的なのか、採掘事業者の防災計画が目的なのかをはっきりさせ、地域住民の安全と理解がなければ進めないことである。

